



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 5 月 14 日(木)
日吉神社嫁見祭り 編

今年で3度目の協賛となった嫁見祭りへのスギ屋台出店。販売メニューは「焼きまんじゅう」と「木都クッキー」でした。事前の作戦会議には私用でほとんど出席できなかったのですが、前に実績のある「おでん」がないのが当初不思議でしたが、実働に参加して改めてとても感心しました。これは、これまでになく厳しくなった食品衛生法への対応と、エコに配慮したこの上ないメニューなんだと…。さすがすみれ会！製菓業の営業許可証とりましたものね。

さて、天気予報で大雨・雷も心配された当日、午前中から大荒れで、午後のテント張りなど準備は雨の中での作業。どうなることかと思いましたが、お祭りの始まりに合わせたかのように少しずつ晴れ間が見え、一安心でした。

市役所から借りたテントが三方向を囲う大判で、下には保健所の指示通りブルーシートを敷き、その中に来客用のテーブルと椅子、調理場、そして販売コーナーのスギ屋台をセッティングして、なかなかの茶屋のできあがり。ギンガムチェックのテーブルクロスの上にアレンジフラワー、スギ灯りと、とてもお洒落なお店になりました。

初登場の焼きまんじゅうは上州名物だそうで、その名と見た目からは想像できない食感と味が大好評でした。小さな子ども達からも「ほっぺが落ちる」と大絶賛。予定を大幅に超える販売数になりました。クッキーも早々に完売。

今回のこだわりは、使い捨ての紙器や割り箸を使わず地球にやさしいエコを実践したこと。会員の家庭に眠っていた茶碗、手作りの和柄コースターや箸入れ、間伐材で作ったお皿とトレイで素敵なセットになりました。

神社の賑わいづくりに一役買ったこの取り組みですが、艶やかな花嫁行列を鑑賞しながらの参加ですから、とても楽しいものがあります。最後に大きなテントをみなで力を合わせて解体。撤収までも手馴れたもので、その後の達成感は格別でした。

文：本庄 龍子



肌寒いお天気ながら、時たま薄日がさすと新緑がすがすがしい境内。



眠っていたお茶碗を集めると、結構な数が集まりました(左)。手づくり感満点の焼きまんじゅうセット。これで 150 円はかなり得た気分です。



ちょっと温かそうなテントの中だけでなく、外にもかわいいお客さんが次々と来てくれました。



日が落ちてきたのでスギ灯りを点灯。一層すてきな空間となりました。



きれいなお嫁さんに子どもおとも見とれていました。ご本人がお嫁さんの時はさぞかしきれいだっただろうと思うような付き添いの方もおられました。